

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~はカタ = キーボードの@の上の^をshiftで変換)
 携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

おねしょ(夜尿症)について1

このごろおねしょについての相談を受けることが多くなりました。おねしょは寒い時期に多くなり、また学年が上がる時期になるため心配が増すためと思われる。今回から数回に分けて、おねしょ(夜尿症)についてお話をさせていただきます。

おねしょと夜尿症の違いについて

寝ている間におしっこを漏らしてしまうことを「おねしょ」といいます。5歳くらいまでは誰でもあることです。6歳以上で続く場合は排泄機能が未熟な場合もあり(つまり病気の可能性があるということ)で夜尿症と呼ばれるようになります。

おねしょのメカニズムは

夜間の尿の量と膀胱(おしっこをためておく場所)の容量のバランスがとれないことによつて発生します。つまり膀胱の大きさに比べて夜間の尿量が多い場合や尿量が普通でも膀胱が小さい時(尿をためておけない時)などが「おねしょ」の原因になります。なお、「おねしょ」することとトイレトレーニングとは関係がないとされており、「トイレのしつけ」がうまくいかなかったから夜尿症になるわけではなく、**育児の善し悪しとは関係がないとされています。**

どれくらいの人がかかるの(頻度は)?

生まれたての赤ちゃんは全員が「おねしょ」をしますが、徐々に少なくなつて5歳では5人に1人(約20%)の人に「おねしょ」があるといわれています。そこからは毎年10%から15%の人が自然に消失していきますが小学校高学年でも約5%の方に「おねしょ」(＝夜尿症)が残ります。しかし、その残った人も大抵の場合、**中学生になると消失してしまします。**

遺伝するの?

両親が夜尿症だからといって子どもさんが必ず夜尿症になるわけではありません。しかし夜尿症のあった両親の子どもは夜尿症がなかった両親から生まれきた子どもに比べ夜尿症になる可能性は高くなります。別の視点からみますとお子様の夜尿症で悩まれている親御さんは依然自分も夜尿症であった可能性が高いということ、あまり焦らないうであげて欲しいのです。

相談が必要ですか?

中学生になるとほとんどの方が治るとはいつても小学生になると本人が気にしだし精神的プレッシャーを感じたり、旅行などの行事に消極的になってきます。ご両親の方でも心配や負担が大きくなってきます。「おねしょ」はすぐには消失せず長期の経過をとるためなおさら不安が強いようです。治療(薬を飲むなど)するかどうかは別として**心構えや生活指導などを含めて一度小児科医に相談してみたいかがでしようか。**また少数ですが、他の病気が隠れている場合もあり簡単な尿検査だけでもしておくほうがよいでしょう。次回では実際の検査の方法や生活指導、治療の方法などについてお話しします。



今月の顔

恵斗君

4月から1年生だね。



月山病院アイチケット

月山病院小児科では順番表示システムを稼働させています、このシステムは携帯メールより診察番号を事前にとることが可能です。QRコード読み取り機能付きカメラ携帯にて読み込んでいただく(カメラを起動してメニューからバーコード読み込みを選択し撮影)か直接アドレスを入力いただければ、現在の診察状況や予約順をとっていただくことが可能です。

月山病院小児科からのお知らせ

感染状況について インフルエンザ

2月末日現在、和歌山市ではインフルエンザ感染症は収束しつつあります。ただし現在みとめられているものは、ほとんどがA型であり、B型が今後出現してくる可能性やいまだ和歌山市以外の地域では患者を認めるためいましばらくの注意が必要です。

嘔吐下痢症(ウイルス性胃腸炎)

依然吐き下しが流行しています。

原因ウイルスは、ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルス(医療機関では一般的に検査はできません)などが混在しているようです。

家族内感染も多く、患者様がいる家庭では特に手洗いを厳重にお願いします。

水ぼうそう・おたふくかぜ

多く認められています。受診時には他児への感染予防のため可能性のある場合は必ず受け付けで申し出てください。よろしくお願いいたします。

3月11日(土)夜診は代診となります。

3月21日(火)は9-12時にて時間外対応いたします。

診察時間充実・変更のお知らせ

月山病院小児科では木曜日夜診にきていただいていたおりました守脇孝成先生が4月から毎日勤務していただけることになりました。これによりこれまで休診であった火曜日午後(予防接種)夜診および水曜日の夜診の診療を開始する予定です。また忙しい時期には2診制による診察が可能となります。これまで複雑な診療時間設定や待ち時間の長さのため患者様には大変ご迷惑をおかけしましたが少しは解消できるのではないかと考えています。また今後は入院につきましても整備していく予定です。これに伴い診察時間および外来担当医の変更を4月6日(木曜日)大安から行う予定です。変更点につきましては次回の小児科報(3月末日までに発行予定)やホームページおよび携帯サイトに順次掲載予定です。当初は混乱することもあるかと存じますが、利便性の向上はもとよりよりよい小児医療を目指しての変更とご理解のほどよろしく願っています。